

関東信越厚生局長 殿

開設者名  
筑波大学長 山田信博

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	152 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	278人	279人	492.5人	看護補助者	55人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	8人	12.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	67人
薬剤師	41人	0.9人	41.9人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	1人	その他	0人
助産師	27人	0.5人	27.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	575人	24.4人	599.4人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	12人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	2人	事務職員	120人
管理栄養士	7人	1.3人	8.3人	診療放射線技師	37人	その他の職員	28人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	649.9人	9.7人	659.6人
1日当たり平均外来患者数	1,357.8人	53.8人	1,411.6人
1日当たり平均調剤数			1,655.4剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	3人
顎顔面補綴	1人
陽子線治療	207人
エキシマレーザー冠動脈形成術	3人
超音波骨折治療	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	0人
活性化自己リンパ球移入療法	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	4人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の固定と転移の検索	68人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児尿路—羊水腔シヤント術	0人
内視鏡下甲状腺癌摘出術	3人
胎児胸腔シヤントチューブ留置術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ペーチェット病	63人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	62人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	94人	・原発性胆汁性肝硬変	18人
・全身性エリテマトーデス	357人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	49人
・再生不良性貧血	29人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	49人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	8人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	176人	・網膜色素変性症	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	43人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	41人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	95人	・神経線維腫症	10人
・大動脈炎症候群	33人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	30人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	29人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	20人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	100人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	25人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	33人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	9人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	0人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週 7 回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 50 例 / 部検率 16.0%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
可溶性組織因子および単球の薬理抑制によるサル対外循環中の外因子系凝固遮断法の確立	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	160万円	補 委 日本学術振興会科学研究補助金
血管撮影で使用する造影剤をどこまでへらせるか	松下昌之助	循環器(外)診療グループ	110万円	補 委 日本学術振興会科学研究補助金
先天性心疾患に合併する肺高血圧症に対する血管内皮増殖因子と低酸素誘導因子の影響	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ	50万円	補 委 日本学術振興会科学研究補助金
大腸癌におけるDNAメチル化を指標とした薬剤耐性機序の解明	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	117万円 (21年度)	補 委 科学研究費(文科省)
胆道癌に対する分子標的化遺伝子導入法を用いた遺伝子化学療法の実験的解析	福田 邦明	消化器(内)診療グループ	182万円 (21年度)	補 委 科学研究費(文科省)
酸化ストレスに応答し機能するバイオマテリアルプラットフォームの設計	松井 裕史	消化器(内)診療グループ	200万円	補 委 科学研究費(文科省)
アミノレブリン酸負荷による尿中ポルフィリンを利用した胃がんのスクリーニング検査	松井 裕史	消化器(内)診療グループ	130万円	補 委 科学研究費(文科省)
蛍光偏光解消法を用いた消化管病変の診断技術の開発	金子 剛	消化器(内)診療グループ	150.8万円	補 委 科学研究費(文科省)
「がんの診断治療用光学機器の開発」班分担研究名 「蛍光手法(蛍光偏光解消法)を用いた癌診断技術の確立」	金子 剛	消化器(内)診療グループ	180万円	補 委 厚生労働省がん研究助成金
血小板製剤を用いた新規肝再生促進／線維化・障害抑制療法開発のための橋渡し研究	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	300万円	補 委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)
Non coding RNAを用いた大腸癌の新規診断法とミサイル療法の開発	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	60万円	補 委 文部科学省科学研究費補助金萌芽研究
受容体を標的にしたりガンドートキシン産生細胞をマイクロカプセル化した新規抗癌治療	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	190万円	補 委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
早期経口摂取が消化管吻合部創傷治療を促進する機序の解明と臨床応用	寺島 秀夫	消化器(外)診療グループ	120万円	補 委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)

計 13件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
α-GalCerを用いたNKT細胞による新規抗癌治療法及び肝硬変治療法の開発	柳澤 和彦	消化器(外)診療グループ	570万円	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(A) 委
トロンボポエチン/血小板による新しい肝細胞癌予防治療法の開発	村田聡一郎	消化器(外)診療グループ	160万円	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B) 委
肝不全に対する治療法の開発	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	90万円	補 TARAプロジェクト 委
遺伝的多様性に基づく慢性気道疾患の制御—難治性病態の解明と薬理遺伝学—	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	1,235万円	補 文部科学省科学研究費 委
泳動パターン解析による糖蛋白腫瘍マーカー	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	325万円	補 文部科学省科学研究費 委
肺胞蛋白症の新たな病態:転写因子T-betによるGM-CSF非依存性の発症機構	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ	120万円	補 文部科学省科学研究費 委
新規サイトカインIL-17Fの気道リモデ	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	52万円	補 文部科学省科学研究費 委
肺血症性ARDSにおけるKeap1誘導性防御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	208万円	補 文部科学省科学研究費 委
Nrf2 is a novel molecular target for treatment of steroid-resistant inflammatory lung diseases.	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	200万円	補 AstraZeneca Research Grant 2009 委
Nrf2システムを利用した抗癌剤感受性診断法の開発と臨床応用	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	500万円	補 委 科学技術振興機構・シーズ発掘試験発展型
ディーゼル排気が次世代に及ぼす影響に関する研究、とくに肺の発育とアレルギーについて	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	315万円	補 委 (財)日本自動車研究所
肺癌の抗癌剤耐性に及ぼす喫煙の影響に関する分子メカニズムの解明	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	200万円	補 (財)喫煙科学研究財団 委
白血球の複合的薬理制御による体外循環後肺障害に対する新たな予防法の開発	後藤 行延	呼吸器(外)診療グループ	221万	補 日本学術振興会科学研究補助金 委
肺エアリーク定則測定モニターの開発と気腫疾患に対する新しい治療ストラテジーの構築	酒井 光昭	呼吸器(外)診療グループ	195万円	補 日本学術振興会科学研究補助金 委

計 14件



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性進行性糸球体腎炎におけるDNAM-1(CD226)の役割	甲斐 平康	腎泌尿器(内)診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金 (若手スタートアップ) 委
恒久的なドナー腎臓産生を目標とした腎臓内再生アッセイ法の開発と大型動物への応用	白井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	90万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
転写因子MafBによる糖尿病性腎症の制御	森戸 直記	腎泌尿器(内)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 (基礎研究 C) 委
新規Maf群転写因子関連糖尿病性腎症モデルマウスの作製および解析	楊 景堯	腎泌尿器(内)診療グループ	80万円	補 科学研究費補助金 (基礎研究C) 委
蛋白結合率の高いアニオン型尿毒症物質を除去するハイブリッド型人工腎臓の開発	鶴岡 秀一	腎泌尿器(内)診療グループ	80万円	補 厚生労働省(基礎研究C) 委
腎疾患重症化予防のための戦略研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	1,300万円	補 厚生労働省 委
進行性腎障害に関する調査研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	240万円	補 厚生労働省 委
今後の特定検診・保健指導における慢性腎臓病の位置づけに関する検討	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	105万円	補 厚生労働省 委
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究班	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	40万円	補 厚生労働省 委
人工ガンマグロブリンの製剤化への安全性と臨床試験に向けた評価系確立	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	35万円	補 厚生労働省 委
腎症に関するエンドポイント評価	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	80万円	補 国立国際医療研究センター 委
前立腺がんのリスク評価と化学予防	赤座英之	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	1,620万円	補 文部科学省 委
BCG搭載多機能性ナノ構造体による膀胱癌ワクチンの開発	赤座英之	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	1,216.4314万円	補 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 委
抗がん剤治療を革新する有効性診断技術の開発(診断・先導)	河合弘二	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	400万円	補 経済産業省 委

計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	山田 信博	内分泌代謝・糖尿病内科	5,000万円	補 厚生労働省 委
原発性高脂血症に関する調査研究	山田 信博	内分泌代謝・糖尿病内科	2,800万円	補 厚生労働省 委
脂質合成系調節転写因子SREBP-1/2の標的配列特異性を決定する共因子の解明(特定)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	370万円	補 文部科学省 委
脂肪酸伸長酵素Elovl6を標的とした臓器脂肪質の変容による代謝制御機構(基盤研究(B))	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	620万円	補 文部科学省 委
肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	90万円	補 厚生労働省 委
栄養組成が肥満、糖脂質代謝、動脈硬化に与える影響に関する研究	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病内科	150万円	補 文部科学省 委
メタボリックシンドローム治療に向けた脂質転写因子SREBP-1機能抑制効果の検討(基盤C)	高橋 昭光	内分泌代謝・糖尿病内科	100万円	補 文部科学省 委
ヒト膵導管細胞を利用した糖尿病の新しい治療法の開発(基盤C)	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病内科	140万円	補 文部科学省 委
SREBP-1cによる糖尿病性合併症発症のオートループ機構(基盤C)	小林 和人	内分泌代謝・糖尿病内科	100万円	補 文部科学省 委
脂肪酸伸長酵素Elovl6の肝臓における生理的意義解明と新規生活習慣病治療法開発(若手A)	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	710万円	補 文部科学省 委
海馬におけるカンナビノイド受容体を介した脂肪酸伸長酵素Elovl6の役割の解明(若手B)	石井 清朗	内分泌代謝・糖尿病内科	210万円	補 文部科学省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	3,000万円	補 厚生労働省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	300万円	補 厚生労働省 委
関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委

計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
関節リウマチの寛解導入療法体系化に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復法の開発に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
膠原病、自己免疫疾患の重複症候群を中心とした実態把握と解析に向けた試料収集	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	80万円	補 厚生労働省 委
胎児・新生児障害の原因となる自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委
新規疾患,IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	120万円	補 厚生労働省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	200万円	補 厚生労働省 委
成人型分類不能型免疫不全症の実態把握、亜群特定に基づく診断基準策定及び病態解明に関する研究	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	200万円	補 厚生労働省 委
多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの治験(治験推進事業)	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	75万円	補 厚生労働省 委
難治性血管炎に関する調査研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	70万円	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	150万円	補 文部科学省 委
自己免疫誘導関節炎における新規制御分子の病因的意義	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	130万円	補 文部科学省 委

計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己免疫疾患における可溶性CD1d分子による病態制御機構の解明	後藤大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	110万円	補	文部科学省
				委	
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	伊藤 聡 (分担)	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	30万円	補	文部科学省
				委	
臍帯血中の造血幹細胞を体外増幅する移植法の開発	長谷川雄一、 千葉 滋、鈴 川 和巳、大越 靖、横山 泰 久、錦井 秀 和	血液診療グループ	200万円	補	財団法人
				委	
Delta1-Fcを利用した体外増幅臍帯血造血幹細胞の輸注による臍帯血移植補助療法の臨床研究	長谷川雄一、 千葉 滋	血液診療グループ	50万円	補	次世代医療研究開発・教育統合センター
				委	
神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚 藤男 (研究代表者)	皮膚診療グループ	3,200万円	補	厚生労働省
				委	
神経皮膚症候群に関する調査研究	川内 康弘 (研究分担者)	皮膚診療グループ	110万円	補	厚生労働省
				委	
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究	大塚 藤男 (研究代表者)	皮膚診療グループ	100万円	補	厚生労働省
				委	
希少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究	大塚 藤男 (研究代表者)	皮膚診療グループ	70万円	補	厚生労働省
				委	
Thサブセット1/2/17の偏りがアトピー性皮膚炎の病態へ及ぼす影響の解析	大塚 藤男	皮膚診療グループ	130万円	補	日本学術振興会
				委	
紫外線照射および表皮発生・分化における皮膚の酸化ストレス防御機構の役割	川内 康弘	皮膚診療グループ	90万円	補	日本学術振興会
				委	
厚生労働科学研究費(難治性疾患克服研究事業)「Alagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成、実態調査並びに生体資料のバンク化」	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	2,600万円	補	厚生労働省
				委	
科学研究費挑戦的萌芽研究「生活習慣病の胎児期起源を裏づける分子機構の解明」	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	110万円	補	日本学術振興会
				委	
科学研究費基盤研究(C)「IGFBP-1遺伝子多型が身長発育およびインスリン感受性に及ぼす影響に関する研究」	鴨田 知博	小児(内)診療グループ	65万円	補	日本学術振興会
				委	

計 13件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
科学研究費基盤研究(C)「血液凝固線溶系を指標とした幼児期からのメタボリックシンドロームの予防に関する研究」	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	195万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費若手研究(B)「アディポネクチンとアディポネクチン遺伝子多型が胎児発育に及ぼす影響に関する研究」	齋藤 誠	小児(内)診療グループ	169万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費基盤A「神経芽腫臨床試験を基盤とした基礎医学的研究 およびトランスレーショナルリサーチ」	金子 道夫	小児(外)診療グループ	1,560万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費挑戦的萌芽研究「腫瘍幹細胞を標的とした難治性小児悪性固形腫瘍に対する新しい治療戦略」	金子 道夫	小児(外)診療グループ	200万円	補 日本学術振興会 委
がん臨床研究事業「神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究」	金子 道夫	小児(外)診療グループ	320万円	補 厚生労働省 委
医療技術実用化総合研究事業「小児悪性固形腫瘍領域における体系的な臨床試験実施に基づく適応外医薬品の臨床導入の妥当性検討に関する研究」	金子 道夫	小児(外)診療グループ	200万円	補 厚生労働省 委
科学研究費基盤B「小児外科疾患に対する幹細胞とその微小環境制御機構を利用した再生医療」	小室 広昭	小児(外)診療グループ	702万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費挑戦的萌芽研究「幹細胞生物学から見た小児外科疾患の病態解明」	小室 広昭	小児(外)診療グループ	103万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費挑戦的萌芽研究「乳酸系生体吸収性材料を基盤に用いたコンプジットグラフトによる気管再建の研究」	楯川 幸弘	小児(外)診療グループ	70万円	補 日本学術振興会 委
科学研究費若手(B)「小児移植医療発展のためのグラフト急性炎症を標的とした新規治療戦略の開発」	藤代 準	小児(外)診療グループ	260万円	補 日本学術振興会 委
形成外科手術に対する研究助成	関堂 充	形成診療グループ	20万円	補 医療法人社団 光仁会総合守谷第一病院 委
形成外科手術に対する研究助成	関堂 充	形成診療グループ	10万円	補 医療法人この実会 嶋崎病院 委
脳のアミロイドーシス(脂質ラフトにおけるアミロイドβ蛋白の産生機構に関する研究)	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	130万円	補 厚生労働省 委

計 13件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
水晶体におけるアミロイドβ蛋白の解析と認知機能との相関に関する研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	140万円	補 文部科学省 委
平成21年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフ(123I-IMP-SPECT)の正常対照群データベース作成	石井 一弘 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	900万円	補 委 環境省
平成21年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) ジフェニルアルシン酸等有機ヒ素化合物ばく露者の眼球運動障害の検討	玉岡 晃 石井 一弘 中馬越清隆	脳神経(内)診療グループ	470万円	補 委 環境省
平成21年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシン酸の中樞神経影響	玉岡 晃 石井 一弘	脳神経(内)診療グループ	3,250万円	補 委 環境省
科学研究費補助金 基盤研究(B) 有機ヒ素化合物による中樞神経系への長期影響の解明	石井 一弘 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	598万円	補 文部科学省 委
治験の実施に関する研究「L-アルギニン」	石井亜紀子	脳神経(内)診療グループ	160万円	補 厚生労働省 委
孤発性筋萎縮性側索硬化症における運動ニューロン死へのRNA編集酵素と多因子の関与	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	110万円	補 学術振興会 委
MRSを用いた脊髄の代謝機能マッピング	阿久津博義	脳神経(外)診療グループ	136.5万円	補 文部科学省科学研究費(若手研究:スタートアップ) 委
「偏光を用いた脳神経機能・組織の術中顕微鏡下イメージングの開発」	鮎澤 聡	脳神経(外)診療グループ	200万円 (H21-23年度)	補 文部科学省科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究) 委
「糖鎖修飾シロリムスリポソームを用いた血管形成術後再狭窄予防の研究」	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	91万円	補 文部科学省科学研究費基盤C 委
脳腫瘍に対する血管新生抑制療法の展開:新規治療法と抵抗性の克服	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	470万円	補 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B) 委
膠芽腫Glomeruloid Vesselは何を行っているか?	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	120万円	補 文部科学省科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究) 委
神経内視鏡による深部脳腫瘍の生物学的特性診断(腫瘍血管新生と低酸素状態)とvascular targeting療法の確立	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	50万円	補 内視鏡医学研究振興財団研究助成 委

計 13件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性脳腫瘍に対するヒト脳腫瘍由来血管内皮細胞ワクチン治療	高野 晋吾、 石川 栄一、他	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 がん集学的治療研究財団一般研究助成 委
膠芽腫由来血管内皮細胞を標的とした血管新生抑制療法の開発および腫瘍内皮幹細胞の同定	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	50万円	補 日本脳神経財団学術研究助成 委
がんに対する陽子線照射と腫瘍免疫融合療法に関する基礎的研究	坪井 康次、 石川 栄一	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 高松宮妃癌研究基金研究助成金 委
ホウ素含有Lipo-peptideを用いた新規ホウ素送達システムの開発	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 医用原子力技術に関する研究助成金 委
膜融合粒子を用いた悪性脳腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の基礎的研究	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	286万円	補 文部科学省科学研究費補助金 基盤(C) 委
細胞および動物実験、ホウ素ナノデバイス型中性子捕捉療法	松村 明、 山本 哲哉、他	脳神経(外)診療グループ	総額 3,314万円 (H20-25年度)	補 厚生労働省科学研究費 委
MRI,DTIを用いた評価、発達期における骨格系と髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	180万円 (H20-23年度)	補 委 厚生労働省科学研究費 精神神経疾患研究委託費
中性子捕捉療法の実施、熱外中性子を用いた悪性脳腫瘍に対する細胞選択的次世代粒子線治療の研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	総額 988万円 (H20-24年度)	補 文部科学省科学研究費補助金 基盤(B) 委
抗酸化作用を利用した新規ホウ素ペプチドの開発	松村 明	脳神経(外)診療グループ	80万円	補 文部科学省挑戦的萌芽研究 委
臨床条件下での検証、中性子捕捉療法の治療計画に精密モンテカルロ評価を実現する境界面関数モデル法の研究	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	470万円 (H20-24年度)	補 文部科学省科学研究費補助金基盤(B) 委
加速器中性子捕捉療法照射システム用の液体リチウム中性子発生ターゲットの開発	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	3,800万円 (H20-22年度)	補 文部科学省基盤研究A 委
「患者にやさしい高度放射線がん治療システムの開発—加速器BNCT治療システムによる放射線がん治療法の統合—」	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	1,200万円	補 東京工業大学統合研究院ソリューション研究企画プロジェクト 委
高速Swept Source光干渉断層計の開発と前眼部の3次元・定量的解析	大鹿 哲郎	眼診療グループ	250万円	補 日本学術振興会 委
偏光感受型・前眼部三次元光干渉断層計の開発と臨床応用	大鹿 哲郎	眼診療グループ	180万円	補 日本学術振興会 委

計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
D-アミノ酸を新たな分子標的とする糖尿病網膜症のメカニズムの解明	加治 優一	眼診療グループ	130万円	補 日本学術振興会 委
サル近視モデルを用いたオルソケラトロジーの近視進行抑制効果の検討	平岡 孝浩	眼診療グループ	340万円	補 日本学術振興会 委
子宮頸癌撲滅のためのHPV型共通予防ワクチンの開発と治療ワクチンの基礎的研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	410万円	補 文部科学省 委
子宮頸がん発生とHLA遺伝子多型に関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	150万円	補 文部科学省 委
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	2,100万円	補 厚生労働省 委
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	1,400万円	補 厚生労働省 委
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法の開発に関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	120万円	補 厚生労働省 委
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	120万円	補 厚生労働省 委
子宮頸部発癌における喫煙の関与とそのしくみ	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	400万円	補 喫煙科学研究財団 委
放射線治療に資するがん制御遺伝子解析研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	105万円	補 一般受託研究 委
心磁計測を導入した新しい系統的胎児不整脈検査・診断システムの構築	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	110万円	補 文部科学省科学研究費 委
抗癌剤に高感受性の卵巣癌由来細胞株の樹立及び抗癌剤治療モデルの創出	沖 明典	婦人・周産期診療グループ	143万円	補 文部科学省科学研究費 委
治療前婦人科がん不顕性血栓塞栓症発見法と顕性化予防法の確立および発生機序の解明	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	78万円	補 文部科学省科学研究費 委
アデノ随伴ウイルスベクターを用いた胎児遺伝子治療の臨床応用のための基礎研究	小倉 剛	婦人・周産期診療グループ	195万円	補 文部科学省科学研究費 委
耳毒性物質による蝸牛障害の成因の解明と治療に関する研究	田淵 経司	耳鼻咽喉診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金基盤研究(C) 委

計 15件



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内耳性難聴の機序の解明と治療	辻 茂希	耳鼻咽喉診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 委 基盤研究(C)
内耳薬物投与システムをお応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用	田淵 経司	耳鼻咽喉診療グループ	90万円	補 科学研究費補助金 委 基盤研究(一般)
急性感音難聴におけるステロイド Target gene作用点の解明	廣瀬 由紀	耳鼻咽喉診療グループ	117万円	補 科学研究費補助金 委 (若手B)
内視鏡下手術の遠隔指導システムの研究開発	和田 哲郎	耳鼻咽喉診療グループ	100万円	補 財団法人大川情報 委 通信基金 研究助成
造血幹細胞移植患者における包括的な口腔管理に関する臨床研究	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	170万円	補 日本学術振興会科学 委 学研究費
口腔癌におけるオートファジー関連因子p62欠損による発癌の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	676万円	補 日本学術振興会科学 委 学研究費
A170欠損マウスを用いた難治性顎骨骨髓炎の修復過程における中枢性骨制御の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	150万円	補 日本学術振興会科学 委 学研究費
陽子線を組み込んだ集学的治療の推進のためのトランスレーショナルリサーチ	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	590万円	補 文部科学省 委
重金属病に対する微小プロトンビームを用いた革新的画像診断の開発	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	200万円	補 文部科学省 委
がんに対する重粒子線治療法	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 文部科学省 委
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委
頭蓋内病変に対する陽子線治療の最適化に関する基礎的研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	320万円	補 文部科学省 委
悪性脳腫瘍に対する体内ワクチン療法の萌芽的研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
陽子線照射と免疫補助療法を併用する新たな肝癌治療法の開発	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	1,027.9万円	補 委 茨城県
がんに対する陽子線照射と腫瘍免疫療法に関する基礎的研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 高松宮妃癌研究基金 委

計 15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝細胞癌に対する陽子線治療の最適化に向けた臨床的研究	水本 斉志	放射線腫瘍科診療グループ	250万円	補 文部科学省 委
IVR患者被ばく測定法の標準化に関する基礎的研究	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	220万円	補 日本学術振興会 委
頭頸部IVRにおける患者眼球被ばく低減のための局所X線遮蔽装置の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	30.2万	補 科学技術振興機構 委
動体追跡システムの高度化と強度変調/スキヤニング照射への応用	照沼 利之	放射線腫瘍科診療グループ	240万円	補 文部科学省 委
陽子線治療におけるディスタル形状位置検出の高速・高精度化の研究	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
性子捕捉療法の治療計画に精密モンテカルロ評価を実現する境界面関数モデル法の研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	120万円	補 文部科学省 委
「先端放射線治療技術パッケージ」によるミニマムリスク放射線治療機器開発イノベーション	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	2,817.4万円	補 厚生労働省 委
陽子線治療高度化研究創出事業	榮 武二	放射線腫瘍科診療グループ	339.5万円	補 文部科学省 委
肺がん病理学的研究	野口 雅之	病理学的診断診療グループ	820万円	補 厚生労働省がん研究助成金 委
胎児抗原に着目した腫瘍関連蛋白の網羅的探索と診断・治療への応用	野口 雅之	病理学的診断診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金(萌芽研究) 委
肺がんのゲノム構造異常解析とその結果に基づいた予後予測方法の検討	野口 雅之	病理学的診断診療グループ	150万円	補 富士フイルム株式会社ライフサイエンス研究所 委
NEDO「肺癌の新たな糖鎖腫瘍マーカーの開発」	野口 雅之	病理学的診断診療グループ	95.55万円	補 経済産業省バイオテクノロジー組合 委
肺腺がんおよびその背景病変の病理とがん発生要因の関係についての解析	森下由紀雄	病理学的診断診療グループ	170万円	補 厚生労働省がん研究助成金 委
肺腺がんの発生及び悪性化における新規がん関連遺伝子OCIAD2の係わり	南 優子	病理学的診断診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金(基盤研究(C)) 委

計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝分化・肝再生におけるdickkopf3の作用機序の解明	加野 准子	病理学的診断診療グループ	210万円	補 委 科学研究費補助金 (基盤研究(C))

計 1件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計167件

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Card Surg 24(5): 561-563, 2009	A modification of extended aortic arch anastomosis augmented with subclavian flap aortoplasty for interrupted or hypoplastic aortic arch.	Sugimori H, Abe M, Kato H, Kanemoto S, Noma M, Horigome H, Takahashi M, Sakakibara Y, Hiramatsu Y.	循環器(外)診療グループ
Int Heart J 50(6): 801-810, 2009	Erythropoietin enhances arterioles more significantly than it does capillaries in an infarcted rat heart model.	Imazuru T, Matsushita S, Hyodo K, Tokunaga C, Kanemoto S, Enomoto Y, Watanabe Y, Hiramatsu Y, Sakakibara Y.	循環器(外)診療グループ
胸部外科 62(12): 1127, 12月1日, 2009	左房粘液種摘除術のアプローチ法: 両房切開法	榑原 謙	循環器(外)診療グループ
日本小児循環器病学会雑誌 25:681-686, 2009	小児開心術後頻脈性不整脈に対する超短時間作用型β遮断薬; 塩酸ランジオロールの使用経験.	徳永 千穂, 平松 祐司, 阿部正一, 金本 真也, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 榑原 謙:	循環器(外)診療グループ
日本小児循環器病学会雑誌 25:56-60, 2009	空洞を伴う肺非結核性抗酸菌症を合併した成人チアノーゼ性先天性心疾患の一例.	加藤 愛章, 堀米 仁志, 高橋 実穂, 徳永 千穂, 平松 祐司, 仁科 秀崇, 船山 康則:	循環器(外)診療グループ
Circ Cardiovasc Imaging 2(6): 451-459, 2009	Validation of 3-Dimensional Speckle Tracking Imaging to Quantify Regional Myocardial Deformation	Seo Y, Ishizu T, Enomoto Y, Sugimori H, Yamamoto M, Machino T, Kawamura R, Aonuma K.	循環器(外)診療グループ
日本小児循環器病学会雑誌 25:821-826, 2009	小児期に大動脈拡張が進行し、基部置換術を施行したLoeys-Dietz症候群—自験例一例と文献集計.	福島 絃子, 堀米 仁志, 平松 祐司, 徳永 千穂, 金子 佳永, 高橋 実穂, 西村 章, 松本 直通, 須磨崎 亮:	循環器(外)診療グループ
Jpn J Clin Oncol	Regular Dose of Gemcitabine Induces an Increase in CD14+ Monocytes and CD11c+ Dendritic Cells in Patients with Advanced Pancreatic Cancer:	Soeda A, Morita-Hoshi Y, Makiyama H, Morizane C, Ueno H, Ikeda M, Okusaka T, Yamagata S, Takahashi N, Hyodo I, Takaue Y, Heike Y.	消化器(内)診療グループ
Complement Ther Med.	Current status of Kampo (Japanese herbal) medicines in Japanese clinical practice guidelines.	Motoo Y, Arai I, Hyodo I, Tsutani K.	消化器(内)診療グループ
Cancer Prev Res (Phila Pa)	Dietary sulforaphane-rich broccoli sprouts reduce colonization and attenuate gastritis in Helicobacter pylori-infected mice and humans.	Yanaka A, Fahey JW, Fukumoto A, Nakayama M, Inoue S, Zhang S, Tauchi M, Suzuki H, Hyodo I, Yamamoto M.	消化器(内)診療グループ

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology.	High orotate phosphoribosyltransferase gene expression predicts Complete response to chemoradiotherapy in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.	Kajiwara T, Nishina T, Hyodo I, Moriwaki T, Endo S, Nasu J, Hori S, Matsuura B, Hiasa Y, Onji M.	消化器(内)診療グループ
Cancer Gene Ther	E1A, E1B double-restricted replicative adenovirus at low dose greatly augments tumor-specific suicide gene therapy for gallbladder cancer.	Fukuda K, Abei M, Ugai H, Kawashima R, Seo E, Wakayama M, Murata T, Endo S, Hamada H, Hyodo I, Yokoyama KK	消化器(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun	Nrf2 Counteracts Cholestatic Liver Injury via Stimulation of Hepatic Defense Systems.	Okada, K., Shoda J., Taguchi, K., Maher, J.M., Ishizaki, K., Inoue, Y., Ohtsuki, M., Goto, N., Sugimoto, H., Utsunomiya, H., Oda, K., Warabi, E., Ishii, T., Yamamoto, M.	消化器(内)診療グループ
Am J Physiol	Deletion of Nuclear Factor- $\kappa$ B-Related Factor-2 Leads to Rapid Onset and Progression of Nutritional Steatohepatitis in Mice.	Sugimoto, H., Okada, K., Shoda J., Warabi, E., Ishige, K., Ueda, T., Taguchi, K., Yanagawa, T., Nakahara, A., Hyodo I, Ishii, T., Yamamoto, M.	消化器(内)診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for large hepatocellular carcinoma.	Sugahara S., Oshiro Y., Nakayama H., Fukuda K., Mizumoto M., Abei M., Shoda J., Matsuzaki Y., Thono E., Tokita M., Tsuboi K., Tokuyue K.	消化器(内)診療グループ
Cancer	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma: the University of Tsukuba experience.	Nakayama H, Sugahara S, Tokita M, Fukuda K, Mizumoto M, Abei M, Shoda J, Sakurai H, Tsuboi K, Tokuyue K	消化器(内)診療グループ
Hepatology Res	Acarbose, an $\alpha$ -glucosidase inhibitor, prevents obesity and hepatic steatosis in SQSTM1/A170/p62-deficient mice.	Okada K., Yanagawa T., Warabi E., Yamastu K., Uwayama J., Takeda K., Utsunomiya H., Yoshida H., Shoda J., Ishii T.	消化器(内)診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	A prospective study of hypofractionated proton beam therapy for patients with hepatocellular carcinoma.	Fukumitsu N., Sugahara S., Nakayama H., Fukuda K., Mizumoto M., Abei M., Shoda J., Thono E., Tsuboi K., Tokuyue K.	消化器(内)診療グループ
Hepatology Res	Choleretic effect of Inchikoto on the cholestatic livers of patients with biliary obstruction due to biliary tract carcinoma: A randomized controlled study.	Watanabe, S., Yokoyama, Y., Oda, K., Kokuryo, T., Shoda J., Okada, K., Utsunomiya, H., Nagino, M.	消化器(内)診療グループ
Strahlenther Onkol.	Proton-beam therapy for hepatocellular carcinoma associated with portal vein tumor thrombosis.	Sugahara S, Nakayama H, Fukuda K, Mizumoto M, Tokita M, Abei M, Shoda J, Matsuzaki Y, Thono E, Tsuboi K, Tokuyue K.	消化器(内)診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Proteome Res	Strategy for glycoproteomics: identification of glyco-alteration using multiple glycan profiling tools.	Ito H., Kuno A., Sawaki H., Sogabe M., Ozaki H., Tanaka Y., Mizogami M., Shoda J., Angata T., Sato T., Hirabayashi J., Ikehara Y., Narimatsu H.	消化器(内)診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	A prospective study of hypofractionated proton beam therapy for patients with hepatocellular carcinoma.	Fukumitsu N, Sugahara S, Nakayama H, Fukuda K, Mizumoto M, <u>Abel M</u> , <u>Shoda J</u> , Thono E, Tsuboi K, Tokuyue K	消化器(内)診療グループ
Bioconjug Chem.	pH-sensitive radical-containing-nanoparticle (RNP) for the L-band-EPR	<u>Yoshitomi T</u> , <u>Suzuki R</u> , <u>Mamiya T</u> , <u>Matsui H</u> , <u>Hirayama A</u> , <u>Nagasaki Y</u> .	消化器(内)診療グループ
J Pharmacol Exp Ther.	Lansoprazole, a proton pump inhibitor, mediates anti-inflammatory effect in gastric mucosal cells through the induction of heme oxygenase-1 via activation of NF-E2-related factor 2 and oxidation of kelch-like ECH-associating protein 1.	Takagi T, Naito Y, Okada H, Ishii T, Mizushima K, Akagiri S, Adachi S, Handa O, Kokura S, Ichikawa H, Itoh K, Yamamoto M, Matsui H, Yoshikawa T.	消化器(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun.	Involvement of aquaporin-1 in gastric epithelial cell migration during wound repair.	Hayashi S, Takahashi N, Kurata N, Yamaguchi A, Matsui H, Kato S, Takeuchi K.	消化器(内)診療グループ
Clin Cancer Res	DNA repair gene polymorphisms and risk of pancreatic cancer.	Li D, <u>Suzuki H</u> , Liu B, Morris J, Liu J, Okazaki T, Li Y, Chang P, Abbruzzese JL.	消化器(内)診療グループ
Radiology	Radiofrequency Ablation of the Liver: Determination of Ablative Margin at MR Imaging with Impaired Clearance of Ferucarbotran--Feasibility Study.	Mori K, Fukuda K, Asaoka H, Ueda T, Kunimatsu A, Okamoto Y, Nasu K, Fukunaga K, Morishita Y, Minami M.	消化器(内)診療グループ
日本腹部救急医学会雑誌	重症肝炎における劇症化予知式に基づいた早期抗ウイルス・抗免疫療法の有効性の検証.	安部井誠人, 福田邦明, 正田純一, 兵頭一之介	消化器(内)診療グループ
胆と膵	【自己免疫関連性胆管炎をめぐって】自己免疫関連性胆管炎の治療選択におけるUDCA/ステロイド反応性の意義	安部井誠人, 福田邦明, 正田純一, 小田竜也, 大河内信弘, 田中直見, 兵頭一之介	消化器(内)診療グループ
消化管Network	蛍光内視鏡による胃癌診断	松井裕史	消化器(内)診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Surgical Research	Autonomic regulation of liver regeneration after partial hepatectomy on mice	O Ikeda	消化器(外)診療グループ
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Platelets contribute to the reduction of liver fibrosis in mice.	M Watanabe	消化器(外)診療グループ
Journal of Surgical Research,	Prevention of leukocyte activation by the neutrophil elastase inhibitor, sivelestat, in the hepatic microcirculation after ischemia-reperfusion	Y Nakano	消化器(外)診療グループ
Phys Med Biol	The measurement of small magnetic signals from magnetic nanoparticles attached to the cell surface and surrounding living cells using a general-purpose SQUID magnetometer.	S Hashimoto	消化器(外)診療グループ
Cytogenetic and Genome Research	Existence of Pink1 antisense RNAs in mouse and their localization	M Chiba	消化器(外)診療グループ
Langenbecks Arch Surgery	Preoperative 3D volumetric analysis for liver congestion applied in a patient with hilar cholangiocarcinoma	K Takahashi	消化器(外)診療グループ
Acta Medica 52(1): 23-25,	Thoracic radiotherapy for mediastinal nodal recurrence	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
Acta Medica 52(4): 163-166	Portal vein tumor thrombus of liver metastasis from lung cancer.	Ogawa R	呼吸器(内)診療グループ
Allergol Int. 58(3):307-31	Genetic Backgrounds of Asthma and COPD	Hizawa N:	呼吸器(内)診療グループ
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 296(5):L804-810	IL-17F-induced IL-11 release in bronchial epithelial cells via MSK1-CREB pathway.	Kawaguchi M,	呼吸器(内)診療グループ
Anticancer Res 29(7): 671-2674	Impact of interstitial lung disease on survival for patients with non-small cell lung cancer.	Satoh H,	呼吸器(内)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Australasian J Ageing28(4):219,	Successfully treated acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia in an octogenarian.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Clin Cancer Res 15(10): 3423-3432	Nrf2 enhances cell proliferation and resistance to anticancer drugs in human lung cancer.	Homma S	呼吸器(内)診療グループ
Clin Lung Cancer 10(2)	Incidentally detected colon cancer during the staging workup for lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Clin Lung Cancer 10(6): 422-425	Lung cancer patients with metachronous or synchronous gastric cancer.	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ
Inflamm Allergy Drug Targets. 8(5): 383-9	Role of interleukin-17F in asthma.	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med 48(11): 925-30	Central alveolar hypoventilation syndrome due to urgical resection for bulbar hemangioblastoma	Matsuyama M	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med 48(3): 1161-1164	Endobronchial etastasis from adrenocortical carcinoma.	Ota K	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med 48(18): 1721	Idiopathic interstitial pneumonias associated with lung cancer.	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med 48(20):1817-1820	Paraneoplastic nephrotic syndrome in patients with lung cancer.	Satoh H,	呼吸器(内)診療グループ
J Clin Pharm Ther 34(6): 631-43	Beta-2 adrenergic receptor genetic polymorphisms and asthma.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
J Orth Sci 14(2): 242-243	Chemotherapy for Langerhans cell sarcoma.	Satoh H,	呼吸器(内)診療グループ

計 11件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Tubercle and Thorax 57(2): 192-197	Lung cancer patients with previous or simultaneous the upper aerodigestive cancers.	Kagohashi K.	呼吸器(内)診療グループ
J Tubercle and Thorax 57(4): 483-484	Positron emission tomography findings in rounded atelectasis.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
J Invest Dermatol 129(3): 650-656	Functional Characterization of IL-17F as a Selective Neutrophil Attractant in Psoriasis.	<u>Kawaguchi M</u>	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol 26(1): 101-102	Prolonged response to gefitinib in bone metastasis.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol 26(2): 147-150,	Axillary lymph node metastasis in lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol 26(2): 167-169, 2009	Giant cell lung carcinoma in a man with acquired immunodeficiency syndrome.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol Aug 6	Interstitial lung disease in patients with small cell lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol 26(2): 222-227,	A Population-based study of Gefitinib in the patients with non-small cell lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Oncologie 32(4): 216-217,	Metacarpal bone metastasis from lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Lung Cancer 65(1): 112-118	Lung cancer in patients aged 80 years and over.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Sao Paulo Med J 127(3): 177-178	Development of rheumatoid arthritis in the course of gefitinib therapy.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
South Med J 102(9): 986	Incidentally detected lung cancer.	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ
South Med J 102(6): 668-669	Empyema in a Rheumatoid Patient.	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
日呼吸会誌 47(6): 501-506	クッシング症候群治療後に発症したサルコイドーシスの1例	森島祐子	呼吸器(内)診療グループ
Onkologie 2009;32:780	Postoperative Follow-Up for Patients with Non-Small Cell Lung Cancer	Nakamura R. Kurishima K. Kobayashi N. Ishikawa S. Goto Y. Sakai M. Onizuka M. Ishikawa H. Satoh H. Hizawa N. Sato Y.	呼吸器(外)診療グループ
日本呼吸器外科学会 雑誌 23(4):666-669, 5月, 2009	嗄声で発症した縦隔気管支原性嚢胞の1例	小林尚寛, 酒井光昭, 後藤行延, 石川成美, 鬼塚正孝:	呼吸器(外)診療グループ
日本内視鏡外科学会 雑誌 14(3): 329- 333, 6月, 2009	腹腔鏡下伊固定術を施行した成人に軸上昇の1例	伊藤博道, 淀縄 聡, 後藤行延, 吉田 進:	呼吸器(外)診療グループ
肺癌 49(4): 450- 455, 8月, 2009	サルコイドーシス合併IA期肺腺癌の1例	小林尚寛, 後藤行延, 中村亮太, 鬼塚正孝, 佐藤浩昭, 野口雅之:	呼吸器(外)診療グループ
J Thorac Oncol 4(9):1183-1184, 9月, 2009.	Increased Fluorodeoxyglucose-Uptake in Positron Emission Tomography with an Endobronchial Schwannoma Occluding the Left Main Stem Bronchus.	Nakamura R, Ishikawa S, Sakai M, Goto Y, Minami Y:	呼吸器(外)診療グループ
J Obstet Gynaecol Res. 2009 Aug;35(4):790-793.	Serious adverse drug reaction in a woman with hyperemesis gravidarum after first exposure to vitamin B complex containing vitamins B1, B6 and B12.	Kuwata Y, Tsuruoka S, Ohkuchi A, Matsubara S, Izumi A, Suzuki M	腎泌尿器(内)診療グループ
Br J Clin Pharmacol. 2009 Aug;68(2):194- 200.	Cranberry juice suppressed the diclofenac metabolism by human liver microsomes, but not in healthy human subjects.	Ushijima K, Tsuruoka S, Tsuda H, Hasegawa G, Obi Y, Kaneda T, Takahashi M, Maekawa T, Sasaki T, Koshimizu TA, Fujimura A	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Pharmacol Ther. 2009 Aug;86(2):154- 159.	Hypertension induced by erythropoietin has a correlation with truncated erythropoietin receptor mRNA in endothelial progenitor cells of hemodialysis patients.	Ioka T, Tsuruoka S, Ito C, Iwaguro H, Asahara T, Fujimura A, Kusano E.	腎泌尿器(内)診療グループ

計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Life Sci. 2010 Jan 2;86(1-2):24-29.	Dosing-time dependent effect of dexamethasone on bone density in rats.	Takahashi M, Ushijima K, Hayashi Y, Maekawa T, Ando H, Tsuruoka S, Fujimura A.	腎泌尿器(内) 診療グループ
Journal of Nephrology, Vol. 22, 809-813, 2009	Successful pregnancy in a female patient with congenital chloride diarrhea (CLD) and renal impairment	Y. Shimizu, T. Kamoda, M. Nagata M, <u>K. Yoh</u> , Y. Hashimoto, A. Matsui, H. Yoshikawa, K. Yamagata, A. Koyama A	腎泌尿器(内) 診療グループ
Biochemical and Biophysical Research Communications, Vol. 389, 235-240, 2009	MafA-deficient and beta cell-specific MafK-overexpressing hybrid transgenic mice develop human-like severe diabetic nephropathy	H. Shimohata, <u>K. Yoh</u> , A. Fujita, N. Morito, M. Ojima, H. Tanaka, K. Hirayama, M. Kobayashi, T. Kudo, K. Yamagata, S. Takahashi	腎泌尿器(内) 診療グループ
Developmental Dynamics, Vol. 238, 2280-2291, 2009	Transcription factor GATA-3 is essential for lens development	A. Maeda, T. Moriguchi, M. Hamada, M. Kusakabe, Y. Fujioka, T. Nakano, K. Yoh, K.C. Lim, J.D. Engel, S. Takahashi	腎泌尿器(内) 診療グループ
Journal of Nephrology, Vol. 22, 682-684, 2009	Hemizygous Fabry disease associated with IgA nephropathy: A case report	H. Shimohata, <u>K. Yoh</u> , K. Takada, H. Tanaka, J. Usui, K. Hirayama, M. Kobayashi, K. Yamagata	腎泌尿器(内) 診療グループ
Clin Exp Nephrol, Vol. 13, 174-178, 2009	Secondary membranous glomerulonephritis associated with recipient residual lymphoma cells after allogeneic bone marrow transplantation.	K. Sakai, J. Usui, H. Kai, M. Hagiwara, N. Morito, C. Saito, <u>K. Yoh</u> , S. Tsuruoka, K. Hirayama, K. Aita, M. Nagata, K. Yamagata	腎泌尿器(内) 診療グループ
Ther Apher Dial, 13(6):520-527, 2009.	Angiopietin balance in septic shock patients treated by direct hemoperfusion with polymyxin b-immobilized fiber.	Ebihara, K. Hirayama, K. Nagai, T. Kakita, Y. Miyamoto, M. Nagai, Y. Ogawa, S. Fujita, H. Shimohata, H. Kai, J. Usui, K. Yamagata, M. Kobayashi,	腎泌尿器(内) 診療グループ
Biochem Biophys Res Commun. 2009 Nov 13;389(2):235-40.	Selective up-regulation of intact, but not defective env RNAs of endogenous modified polytropic retrovirus by the Sgp3 locus of lupus-prone mice.	Shimohata H, <u>Yoh K</u> , Fujita A, <u>Morito N</u> , Ojima M, Tanaka H, Hirayama K, Kobayashi M, Kudo T, <u>Yamagata K</u> , Takahashi S.	腎泌尿器(内) 診療グループ
Jpn J Clin Oncol. 2010 Mar;40(3):267-70. Epub 2009 Dec 9	Successful management by provocative angiography and endovascular stent of Ureteroarterial fistula in a patient with a long-term indwelling ureteral stent.	Yamasaki K Omori K Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Eur J Cancer Prev. 2010 Mar;19(2):131-7	Polymorphisms in estrogen related genes may modify the protective effect of isoflavones against prostate cancer risk in Japanese men.	Sonoda T Miyanaga N Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Cancer Sci. 2010 Jan;101(1):22-8. Epub 2009 Sep 26. Review	Current status of chemotherapy in risk-adapted management for metastatic testicular germ cell cancer.	Kawai K Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ

計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol. 2010 Mar;40(3):194-202. Epub 2009 Nov 7	A phase II study of sunitinib in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma: insights into the treatment, efficacy and safety.	Uemura H Shinohara N Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
J Clin Oncol. 2009 Sep10;27(26):4306-13. Epub 2009 Aug 10	Risk assessment among prostate cancer patients receiving primary androgen deprivation therapy.	Cooperberg MR Hinotsu S Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Prostate Cancer Prostatic Dis. 2009;12(3):247-52. Epub 2009 Jul 14	Isoflavone supplements stimulated the production of serum equol and decreased the serum dihydrotestosterone levels in healthy male volunteers.	Tanaka M Miyanaga N Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Cancer. 2009 Aug1;115(15):3437-45	Combined androgen blockade with bicalutamide for advanced prostate cancer: long-term follow-up of a phase 3, double-blind, randomized study for survival.	Akaza H Hinotsu S Usami M	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Cancer Sci. 2009 Sep;100(9):1714-8. Epub 2009 May 12	Low expression of microphthalmia-associated transcription factor, a potential molecular target for interferon-alpha susceptibility, is associated with metastasis in renal cell carcinoma.	Shimazui T Kojima T Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Int J Clin Oncol. 2009 Apr;14(2):171-3. Epub 2009 Apr 24	Extremely acute exacerbation of interstitial pneumonia after interferon-alpha treatment for metastatic renal cell carcinoma.	Ando S Kawai K Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Jpn J Clin Oncol. 2009 Jun;39(6):394-8. Epub 2009 Apr 9	Real-time elastography for the diagnosis of prostate cancer: evaluation of elastographic moving images.	Miyagawa T Tsutsumi M Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Proc Natl Acad Sci U S A,	SCAP is required for timely and proper myelin membrane synthesis.	Verheijen MH, Camargo N, Verdier V, Nadra K, de Preux Charles AS, Médard JJ, Luoma A, Crowther M, Inouye H, Shimano H, Chen S, Brouwers JF, Helms JB, Feltri ML, Wrabetz L, Kirschner D, Chrast R, Smit AB:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Arterioscler Thromb Vasc Biol;	ApoAII controversy still in rabbit?	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Atheroscler Thromb	Effects of pitavastatin (LIVALO Tablet) on high density lipoprotein cholesterol (HDL-C) in hypercholesterolemia.	Teramoto T, Shimano H, Yokote K, Urashima M:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Atheroscler Thromb	Adiponectin and adiponectin receptors in human pheochromocytoma.	Isobe K, Fu L, Tatsuno I, Takahashi H, Nissato S, Hara H, Yashiro T, Suzukawa K, Takekoshi K, Shimano H, Kawakami Y:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun	Hormone-sensitive lipase deficiency suppresses insulin secretion from pancreatic islets of Lep ob/ob mice.	Sekiya M, Yahagi N, Tamura Y, Okazaki H, Igarashi M, Ohta K, Takanashi M, Kumagai M, Takase S, Nishi M, Takeuchi Y, Izumida Y, Kubota M, Ohashi K, Iizuka Y, Yagyu H, Gotoda T, Nagai R, Shimano H, Yamada N, Kadowaki T, Ishibashi S, Osuga J:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Nat Cell Biol	TGF-beta activates Akt kinase through a microRNA-dependent amplifying circuit targeting PTEN.	Kato M, Putta S, Wang M, Yuan H, Lanting L, Nair I, Gunn A, Nakagawa Y, Shimano H, Todorov I, Rossi JJ, Natarajan R:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Biochem Biophys Res Commun,	The up-regulation of microRNA-335 is associated with lipid metabolism in liver and white adipose tissue of genetically obese mice.	Nakanishi N, Nakagawa Y, Tokushige N, Aoki N, Matsuzaka T, Ishii K, Yahagi N, Kobayashi K, Yataoh S, Takahashi A, Suzuki H, Urayama O, Yamada N, Shimano H:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
JAMA	Cardiorespiratory fitness as a quantitative predictor of all-cause mortality and cardiovascular events in healthy men and women: a meta-analysis	Kodama S, Saito K, Tanaka S, Maki M, Yachi Y, Sato M, Sugawara A, Totsuka K, Shimano H, Ohashi Y, Yamada N, Sone H:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Diabetes Care	Influence of fat and carbohydrate proportions on the metabolic profile in patients with type 2 diabetes: a meta-analysis.	Kodama S, Saito K, Tanaka S, Maki M, Yachi Y, Sato M, Sugawara A, Totsuka K, Shimano H, Ohashi Y, Yamada N, Sone H:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Mol Med,	Elovl6: a new player in fatty acid metabolism and insulin sensitivity	Matsuzaka T, Shimano H:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
FEBS J	SREBPs: Febnovel aspects of SREBPs in the regulation of lipid synthesis.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
FEBS J	SREBPs: physiology and pathophysiology of the SREBP family.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Atheroscler Thromb	SPARC is a major secretory gene expressed and involved in the development of proliferative diabetic retinopathy.	Watanabe K, Okamoto F, Yokoo T, Tada Iida K, Suzuki H, Shimano H, Oshika T, Yamada N, Toyoshima H:	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Progress in Medicine	乳児期に著明な高コレステロール血症と黄色腫を発症し、胆汁酸吸着レジンは著効した1症例。	鈴木浩明, 高橋昭光, 矢藤繁, 小林和人, 古田淳一, 島野仁, 山田信博.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内分泌学会雑誌	妊娠に合併した原発性アルドステロン症の一例.	菅野洋子, 久芳素子, 小俣勝哉, 山田直樹, 小林和人, 高橋昭光, 矢藤繁, 藤木豊, 鈴木浩明, 島野仁, 山田信博.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
日本呼吸器学会雑誌	クッシング症候群治療後に発症したサルコイドーシスの1例	田中享子, 森島祐子, 石井幸雄, 坂本透, 鈴木浩明, 大塚藤男, 檜澤伸之.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Diabetologia	Differentiation of COPAS-sorted non-endocrine pancreatic cells into insulin-positive cells in the mouse.	Kikugawa R, Katsuta H, Akashi T, Yatoh S, Weir GC, Sharma A, Bonner-Weir S.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Biochem Biophys Res Commun	Nuclear SREBP-1a causes loss of pancreatic beta-cells and impaired insulin secretion.	Iwasaki Y, Iwasaki H, Yatoh S, Ishikawa M, Kato T, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Yahagi N, Kobayashi K, Takahashi A, Suzuki H, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
体育の科学	脂質代謝から見た糖尿病の発症	松坂 賢、島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Ann. Rheum. Dis. 68:710-714,2009	Muscarinic-3 acetylcholine receptor autoantibody in patients with systemic sclerosis: contribution to severe gastrointestinal tract dysmotility	Kawaguchi Y, Nakamura Y, Matsumoto I, Nishimagi E, Satoh T, Kuwana M, Sumida T, Hara M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Rheum. 60(2) 553-558,2009	Replication of the Association between C8orf13-BLK Region and Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Population.	Ito I, Kawasaki A, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Geoffrey Hom, Robert R. Graham, Takasaki Y, Hashimoto H, Ohashi J, Timothy W. Behrens, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol. 155:285-294,2009	B cell play crucial role as antigen presenting cells and collaborating with inflammatory cytokines in glucose-6-phosphate isomerase-induced arthritis.	Tanaka-Watanabe Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Jpn.J.Clin.Immunol. 32:48-52,2009	Mannose binding lectin gene polymorphism and the severity of chronic periodontitis.	Tsutsumi A, Kobayashi T, Ito S, Goto D, Matsumoto I, Yoshie H, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
J. Periodont. 80:792-799,2009	Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese adults.	Kobayashi T, Murasawa A, Ito S, Yamamoto K, Komatsu Y, Abe A, Sumida T, Yoshie H.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mod Rheumatol 19:229-234,2009	Efficacy of mizoribine pulse therapy in patients with rheumatoid arthritis who show reduced or insufficient response to infliximab.	Horikoshi M, Ito S, Ishikawa M, Umeda N, Kondo Y, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod.Rheumatol 19:358-365,2009	A new low-field extremity magnetic resonance imaging and proposed compact MRI score: evaluation of anti-tumor necrosis factor biologics on rheumatoid arthritis.	Suzuki T, Ito S, Handa S, Kose K, Okamoto Y, Minami M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, and Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Niigata Dental Journal 39(1):25-28,2009	Effect of 6-month administration of Cevimeline hydrochloride on salivary flow rate and salivary components in primary Sjogren's syndrome patients.	Funayama S, Ito K, Hitomi Y, Sakuma S, Ito S, Nomura S, Igarashi A.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod.Rheumatol 19:366-371,2009	Altered peptide ligands regulate type II collagen-induced arthritis in mice.	Wakamatsu E, Matsumoto I, Yoshiga Y, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Intern. Med. 48:1093-1097,2009	A case of atypical Cogan's syndrome with aortitis.	Kondo Y, Ito S, Ohi Y, Satou H, Hiraoka T, Tsuboi H, Sugihara M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Int. J. Mol. Med. 24(4):481-486,2009	Low levels of soluble CD1d protein alters NKT cell function in patients with rheumatoid arthritis.	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Hayashi T, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res Ther. 11(4):R118. Epub 2009 Aug 6 ,2009	Tumor necrosis factor alpha-induced adipose-related protein expression in experimental arthritis and in rheumatoid arthritis.	Inoue A, Matsumoto I, Tanaka Y, Iwanami K, Kanamori A, Ochiai N, Goto D, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol. 159(1):1-10,2009	Laser Microdissection-based Analysis of Cytokine Balance in the Kidneys of Patients with Lupus Nephritis.	Wang Y, Ito S, Chino Y, Goto D, Matsumoto I, Murata H, Tsutsumi A, Hayashi T, Uchida K, Usui J, Yamagata K, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res Ther 2009 Nov 9;11(6):R167.	Altered peptide ligands inhibit arthritis induced by glucose-6-phosphate isomerase peptide.	Iwanami K, Matsumoto I, Yoshiga Y, Inoue A, Kondo Y, Yamamoto K, Tanaka Y, Minami R, Hayashi T, Goto D, Ito S, Nishimura Y, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Rheumatology 48:1570-1574,2009	Clinical usefulness of anti-RNA polymerase III antibody measurement by enzyme-linked immunosorbent assay.	Satoh T, Ishikawa O, Ihn H, Endo H, Kawaguchi Y, Sasaki T, Goto D, Takahashi K, Takahashi H, Misaki Y, Mimori T, Muro Y, Yazawa N, Sato S, Takehara K, Kuwana M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol.(in press)	Inhibition of transforming growth factor-beta signaling attenuates IL-18 plus IL-2-induced interstitial lung disease in mice.	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann. Rheum. Dis. 69:936-937,2010.	Replication of association between FAM167A(C8orf13)-BLK region and rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Ito I, Kawasaki A, Ito S, Kondo Y, Sugihara M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Takasaki Y, Hashimoto H, Matsuta K, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Intern. Med.49:187-189,2010	A patient with rheumatoid arthritis who had a normal delivery under etanercept treatment.	Umeda N, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Int.Immunol. 22:319-328,2010.	Induction of Th1-biased cytokine production by $\alpha$ -carba-GalCer, a neoglycolipid ligand for natural killer T cells.	Tashiro T, Nakagawa R, Inoue S, Omori-Miyake M, Chiba T, Fujii S, Shimizu K, Mori K, Yoshiga Y, Sumida T, Watarai H, Taniguchi M.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Mod. Rheumatol.(in press)	New low-field extremity MRI, compacTscan: comparison with whole body 1.5 tesla conventional MRI.	Suzuki T, Ito S, Handa S, Kose K, Okamoto Y, Minami M, Sugihara M, Horikoshi M, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Journal of Biomedicine and Biotechnology(in press)	Association of TNFAIP3 polymorphism with susceptibility to systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	Kawasaki A, Ito I, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T and Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Autoimmunity Reviews (in press)	Functional role of M3 muscarinic acetylcholine receptor (M3R) reactive T cells and anti-M3R autoantibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Sumida T, Tsuboi H, Iizuka M, Nakamura Y, Matsumoto I.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
International Journal of Rheumatic Diseases (in press)	High dose unfractionated heparin therapy in a pregnant patient with antiphospholipid syndrome: a case report.	Ogishima H, Ito S, Tsutsumi A, Sugihara M, Goto D, Matsumoto I, Obata-Yasuoka M, Hamada H, Yoshikawa H, Takahashi H, Murashima A, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol.(in press)	New epitopes and function of anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Tsuboi H, Matsumoto I, Wakamatsu E, Nakamura Y, Iizuka M, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Modern Rheumatology(in press)	Elevated level of serum cystatin-C concentration is a useful predictor for myelosuppression induced by methotrexate for treatment of rheumatoid arthritis.	Hayashi T, Ito S, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ
Br J Pharmacol. 160(2):292-310,2010.	A novel antagonist of the prostaglandin E(2) EP(4) receptor inhibits Th1 differentiation and Th17 expansion and is orally active in arthritis models.	Chen Q, Muramoto K, Masaaki N, Ding Y, Yang H, Mackey M, Li W, Inoue Y, Ackermann K, Shirota H, Matsumoto I, Spyvee M, Schiller S, Sumida T, Gusovsky F, Lamphier M.	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ

計 10件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Modern Rheumatology(in press)	Comparison of low-field dedicated extremity magnetic resonance imaging with articular ultrasonography in patients with rheumatoid arthritis.	Horikoshi M, Suzuki T, Sugihara M, Kondo Y, Tsuboi H, Uehara T, Hama M, Takase K, Ohno S, Ishigatsubo Y, Yoshida Y, Sagawa A, Ikeda K, Ota T, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Eur J Dermatol	Superimposed segmental dermatitis with chronic prurigo.	Kawachi Y, et al.	皮膚診療グループ
J Eur Acad Dermatol Venereol	Epidermal pseudocarcinomatous hyperplasia with underlying epidermal growth factor-producing cutaneous CD30-positive lymphoproliferative disorder.	Kawachi Y, et al.	皮膚診療グループ
J Plast Reconstr Aesthe Surg	Combined therapy of selective embolization followed by surgery in a case of giant arteriovenous malformation in the buttock.	Fujisawa Y, et al.	皮膚診療グループ
Hepatol Res	Histological findings in the livers of patients with neonatal intrahepatic cholestasis caused by citrin deficiency.	Kimura A, Sumazaki R, et al.	小児(内)診療グループ
Liver Transpl	Allograft steatohepatitis in progressive familial intrahepatic cholestasis type 1 after living donor liver transplantation.	Miyagawa-Hayashino A, Sumazaki R, et al.	小児(内)診療グループ
Eur J Pediatr	Transient myelofibrosis with autoimmune pancytopenia: a case report.	Nakao T, Fukushima T, Sumazaki R, et al.	小児(内)診療グループ
Pediatr Cardiol	Apical hypertrophic cardiomyopathy in childhood: a long-term follow-up report of two cases.	Miyamoto T, Horigome H, Sumazaki R, et al.	小児(内)診療グループ
Eur J Pediatr	Novel compound heterozygous ATP6V0A4 mutations in an infant with distal renal tubular acidosis.	Saito T, Kamoda T, et al.	小児(内)診療グループ
J Nephrol	Successful pregnancy in a female patient with congenital chloride diarrhea (CLD) and renal impairment.	Shimizu Y, Kamoda T, et al.	小児(内)診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Horm Res	Longitudinal evaluation of patients with a homozygous R450H mutation of the TSH receptor gene.	Mizuno H, Kamoda T, et al.	小児(内)診療グループ
Ann Thorac Surg	Kawashima procedure after staged unifocalizations in asplenia with major aortopulmonary collateral arteries.	Ban Y, Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Circ Arrhythm Electrophysiol	Clinical characteristics and genetic background of congenital long-QT syndrome diagnosed in fetal, neonatal, and infantile life: a nationwide questionnaire survey in Japan.	Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Clin Appl Thromb Hemost	Blood Rheology and its Determinants in Healthy Adults and Children Using the Microchannel Array Flow Analyzer.	Katayama Y, Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Pediatr Int	Prevalence of childhood obesity from 1978 to 2007 in Japan.	Yoshinaga M, Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
J Card Surg	A modification of extended aortic arch anastomosis augmented with subclavian flap aortoplasty for interrupted or hypoplastic aortic arch.	Sugimori H, Horigome H, Takahashi-Igari M, et al.	小児(内)診療グループ
Congenit Heart Dis	Coronary artery dilatation in LEOPARD syndrome. A child case and literature review.	Iwasaki Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, et al.	小児(内)診療グループ
Pediatr Int	Sporadic neonatal Fanconi's anemia with VACTERL association.	Kanemoto N, Fukushima T, et al.	小児(内)診療グループ
脳と発達	短潜時体性感覚誘発電位で中枢伝導時間の著明な延長を認めた先天性無痛無汗症の2例	田中竜太、大戸達之、他	小児(内)診療グループ
J Biol Chem	Autotaxin/lysophospholipase D-mediated lysophosphatidic acid signaling is required to form distinctive large lysosomes in the visceral endoderm cells of the mouse yolk sac.	Koike S, Ohto T, et al.	小児(内)診療グループ
J Clin Oncol 27(2):298-303, 2009	The International Neuroblastoma Risk Group(INRG) Staging System.	Monclair T, Brodeur GM, Ambros H, Brisse H, Cecchetto G, Holmes K, Kaneko M, et al.	小児(外)診療グループ

計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Science 100(11), 2193-2201, 2009	Prolonged Low-dose Administration of the Cyclooxygenase-2 Inhibitor Celecoxib Enhances the Antitumor Activity of Irinotecan against Neuroblastoma Xenografts.	Kaneko M, Kaneko S, Suzuki K	小児(外)診療グループ
日本小児外科学会雑誌 45(5):820-824, 2009	開口部レティナを用いた小児気管切開の安全性に関する検討	池袋賢一、金子道夫、平井みさ子	小児(外)診療グループ
Pediatric Surgery International 25: 981-986, 2009	Myoblast transplantation to defecation muscles in a rat model: a possible treatment strategy for fecal incontinence after the repair of anorectal anomalies.	Saijara R, Komuro H, Urita Y, Hagiwara K, Kaneko M	小児(外)診療グループ
日本小児外科学会雑誌 45(7):1065-1069,2009	初回治療後38年後に腹部腫瘍を指摘された病期3後腹膜原発神経芽腫の症例	金子道夫	小児(外)診療グループ
日本小児泌尿器科学会雑誌 18(1):65-67,2009	胎児期に発症したと考えられる原発性閉塞性巨大尿管の1症例	神保教広、楯川幸弘、小室広昭、瓜田泰久、工藤寿美、堀哲夫、金子道夫、菅野雅人、長田道夫	小児(外)診療グループ
小児外科 41:665-669, 2009	特集 二分脊椎への取り組み:二分脊椎の胎内治療	小室広昭	小児(外)診療グループ
日本形成外科学会誌 第29号	痕跡唇裂の治療方針:われわれの手術術式とその目的について	富樫真二	形成診療グループ
形成外科 第52号	腹腔内血管を移植床血管とした遊離皮弁移植	関堂充	形成診療グループ
形成外科ADVANCEシリーズII-7「殿部・会陰部の再建と褥瘡の治療最近の進歩第2版」	陰茎再建4)陰茎再建の現状と諸問題	遠藤隆志	形成診療グループ
形成外科医に必要な皮膚腫瘍の診断と治療	耳下腺腫瘍の診断	関堂充	形成診療グループ
Case Report: Mepiform Vol.2	術後・熱傷後肥厚性瘢痕に対するシリコンジェルシート メピフォームの使用経験	関堂充	形成診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
形成外科 第52号	随想 多様性ということ	関堂充	形成診療グループ
Pepars 第37号	背部の穿通枝皮弁の挙上と応用	関堂充	形成診療グループ
形成外科診療プラクティス	皮弁外科・マイクロサージャリーの実際 挙上～血管吻合の基本から美容的観点を含めて	関堂充	形成診療グループ
Acta Neuropathol	Clinicopathological characterization of frontotemporal lobar degeneration with ubiquitin-positive inclusions and pick's disease	O Yokota	脳神経(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun	IGF-1 promotes beta-amyloid production by a secretase independent mechanism	W Araki	脳神経(内)診療グループ
Nature Genetics	Genome-wide association study identifies common variants at four loci as genetic risk factors for Parkinson's disease	W Satake	脳神経(内)診療グループ
J Neurosci Methods	TgArc/Arg3.1-d4EGFP indicator mice: a versatile tool to study brain activity changes in vitro and in vivo	V Grinevich	脳神経(内)診療グループ
Neuro-Oncology (Tokyo) 2009. (in press)	悪性神経腫瘍に対する放射線・テモゾロミド初期治療中の副作用 ～特にリンパ球減少について～	石川栄一、高野晋吾、坂本則彰、中井 啓、山本哲哉、坪井康次、松村 明	脳神経(外)診療グループ
No Shinkei Geka 37: 887-892, 2009.	下垂体腺腫の蝶形骨洞手術後に大量のくも膜下出血・脳室内出血を来した1例	伊藤嘉朗、高野晋吾、室井愛、松村 明	脳神経(外)診療グループ
小児の脳神経 34: 90-94, 2009	Diffusion tensor imaging による水頭症の評価	大須賀覚、山本哲哉、石川栄一、松下 明、松村 明	脳神経(外)診療グループ
Orthopaedic Surgery and Traumatology Surgery 52: 919-922, 2009	硬膜外腫瘍摘出術後に小脳出血を呈した一例	佐藤祐希、坂根正孝、作田直紀、落合直之、山本哲哉、村井伸司	脳神経(外)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuro-Oncology (Tokyo) 2009. (in press)	3歳以下のATRTR6例の治療予後	高野晋吾、福島 敬、室井愛、山本哲哉、石川栄一、大須賀覚、松村 明	脳神経(外)診療グループ
第31回日本バイオマテリアル学会予稿集: 102, 2009	糖鎖修飾リボソームを用いた血管形成術後狭窄予防	鶴嶋英夫、鶴田和太郎、鈴木謙介、山本哲哉、山寄登、松村明	脳神経(外)診療グループ
産業技術総合研究所計測フロンティア研究部門第19回公開セミナー講演集 7-9, 2009	Drug Delivery SystemとLCS-X線を用いた新規組み合わせ治療の可能性	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ
脊髄外科 23(1) 80-84, 2009	成人発症の髄内頸髄脂肪腫の一例	中井 啓、丸島愛樹、松村 明	脳神経(外)診療グループ
耳鼻臨床 102 (11) 900-901, 2009	超音波手術器を用いた聴神経腫瘍手術の工夫	和田哲郎、原 晃、高野晋吾、松村 明、葭仲 潔	脳神経(外)診療グループ
第31回日本バイオマテリアル学会予稿集: 113, 2009	DNA-抗体-アパタイト複合層を利用した遺伝子導入技術の開発	矢崎侑振、鶴嶋英夫、大矢根綾子、十河友、山崎淳司、伊藤教夫	脳神経(外)診療グループ
Experience with 21 patients. Neurosurgery 65: 54-62, 2009	Transsphenoidal decompression of the sellar floor for cavernous sinus meningiomas	Akutsu H, Kreutzer J, Fahlbusch R, Buchfelder M	脳神経(外)診療グループ
Radiol Phys Technol 2: 159-165, 2009	Measurement of thermal neutron fluence distribution with use of <sup>23</sup> Na radioactivation around a medical compact cyclotron	Fujibuchi T, Yamaguchi I, Kasahara T, Iimori T, Masuda Y, Kimura K, Watanabe H, Isobe T, Sakae T	脳神経(外)診療グループ
lesional vs nonlesional epilepsy. Brain Dev 31:34-41, 2009	Magnetoencephalography using total intravenous anesthesia in pediatric patients with intractable epilepsy	Fujimoto A, Ochi A, Imai K, Chan D, Sharma R, Viljoen A, Chu B, Holowka S, Kemp SM, Chuang SH, Matsumura A, Ayuzawa S, Snead OC 3rd, Otsubo H	脳神経(外)診療グループ
Neurosurgery 65: 689-695, 2009	Delayed cyst formation after gamma knife radiosurgery for brain metastasis	Ishikawa E, Yamamoto M, Saito A, Kujiraoka Y, Iijima T, Akutsu H, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
ACS Appl Mater Interfaces, 1:1520-1524, 2009	A new approach for hydroxyapatite coating on polymeric materials using laser-induced precursor formation and subsequent aging	Lee BH, Oyane A, Tsurushima H, Shimizu Y, Sasaki T, Koshizaki N	脳神経(外)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
a case report. Spine 34 E230-4, 2009	Selective arterial embolization with n-butyl cyanoacrylate in the treatment of aneurysmal bone cyst of the thoracic vertebra	Marushima A, Matsumaru Y, Suzuki K, Takigawa T, Kujiraoka Y, Anno I, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo) 49: 93-95, 2009	Acquired hemophilia first manifesting as life-threatening intracranial hemorrhage. Case report	Mashiko R, Yamamoto T, Sato M, Noguchi S, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 19-21, 2009	Dose distribution and clinical response of glioblastoma treated with external beam boron neutron capture therapy	Matsuda M, Yamamoto T, Kumada H, Nakai K, Shirakawa M, Tsurubuchi T, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Gene Ther 16: 1465-76, 2009	Highly efficient eradication of intracranial glioblastoma using Eg5 siRNA combined with HVJ envelope	Matsuda M, Yamamoto T, Matsumura A, Kaneda Y	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67:12-4, 2009	Current practices and future directions of therapeutic strategy in glioblastoma: survival benefit and indication of BNCT	Matsumura A, Yamamoto T, Tsurubuchi T, Matsuda M, Shirakawa M, Nakai K, Endo K, Tokue K, Tsuboi K	脳神経(外)診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2009 (Epub ahead of print)	Phase I/II Trial of Hyperfractionated Concomitant Boost Proton Radiotherapy for Supratentorial Glioblastoma Multiforme	Mizumoto M, Tsuboi K, Igaki H, Yamamoto T, Takano S, Oshiro Y, Hayashi Y, Hashii H, Kanemoto A, Nakayama H, Sugahara S, Sakurai H, Matsumura A, Tokuyue K	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 43-6, 2009	Feasibility of Boron Neutron Capture Therapy for malignant spinal tumors	Nakai K, Kumada H, Yamamoto T, Tsurubuchi T, Zaboronok A, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67(7-8 Suppl):S84-7, 2009	Development of boron nanocapsules for neutron capture therapy	Nakamura H, Ueno M, Ban HS, Nakai K, Tsuruta K, Kaneda Y, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 348-50, 2009	PET pharmacokinetic analysis to estimate boron concentration in tumor and brain as a guide to plan BNCT for malignant cerebral glioma	Nariai T, Ishiwata K, Kimura Y, Inaji M, Momose T, Yamamoto T, Matsumura A, Ishii K, Ohno K	脳神経(外)診療グループ
J Neurosurg 2009 (Epub ahead of print)	Evaluation of ventriculomegaly using diffusion tensor imaging: correlations with chronic hydrocephalus and atrophy	Osuka S, Matsushita A, Yamamoto T, Saotome K, Isobe T, Nagatomo Y, Masumoto T, Komatsu Y, Ishikawa E, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
J Biomed Mater Res A, 2009 (Epub ahead of print)	Fibronectin-DNA-apatite composite layer for highly efficient and area-specific gene transfer	Oyane A, Murayama M, Yamazaki A, Sogo Y, Ito A, Tsurushima H	脳神経(外)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BIOCERAMICS 22: 535-538, 2009	Immobilization of cell adhesion protein in DNA-apatite composite layer to improve gene transfer efficiency on its surface The 22nd International Symposium on Ceramics in Medicine.	Oyane A, Tsurushima H, Murayama M, Yamazaki A, Sogo Y, Ito A	脳神経(外)診療グループ
J Clin Neurosci 16: 264-269, 2009	Direct comparison of thallium-201 and technetium-99m MIBI SPECT of a glioma by a receiver operating characteristic analysis	Shibata Y, Yamamoto T, Takano S, Katayama W, Takeda T, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
J Clin Neurosci, 1381-1382, 2009	Comment on "Hypericin uptake: a prognostic marker for survival in high-grade glioma"	Shibata Y	脳神経(外)診療グループ
Japanese Journal of Headache 35, 3, 76-78, 2009	Our clinical experience with migraine-triggered seizure	Shibata Y, Muroi A, Matsushita A, Tsunoda T, Kobayashi E, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Neurol Sci 2009 [Epub]	Cystic neurohypophysial Germinoma associated with Moyamoya disease	Shibata Y, Matsuda M, Suzuki K, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 88-90, 2009	Synthesis and evaluation of a novel liposome containing BPA-peptide conjugate for BNCT	Shirakawa M, Yamamoto T, Nakai K, Aburai K, Kawatobi S, Tsurubuchi T, Yamamoto Y, Yokoyama Y, Okuno H, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Neuro Oncol 11: 219, 2009	The role of chemokine SDF-1 and CXCR4 in glioma angiogenesis and invasiveness: interaction between glioma and glioma-derived endothelial cells	Takano S, Osuka S, Mashiko R, Ohneda O, Nagano M, Yamashita T, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 94-6, 2009	Intracellular uptake of a new boronated porphyrin EC032	Tsurubuchi T, Yamamoto T, Nakai K, Zaboronok A, Yoshida F, Miyakawa M, Shirakawa M, Matsuda M, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Photodiagnosis and Photodynamic Therapy 6: 19-27, 2009	The optimization of fluorescence imaging of brain tumor tissue differentiated from brain edema - In vivo kinetic study of 5-aminolevulinic acid and talaporfin sodium	Tsurubuchi T, Zaboronok A, Yamamoto T, Nakai K, Yoshida F, Shirakawa M, Matsuda M, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67(7-8 Suppl):S94-6, 2009	Intracellular uptake of a new boronated porphyrin EC032	Tsurubuchi T, Yamamoto T, Nakai K, Zaboronok A, Yoshida F, Miyakawa M, Shirakawa M, Yamamoto Y, Matsuda M, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Biomaterials 30: 118-125, 2009	Application of liposomes incorporating doxorubicin with sialyl Lewis X to prevent stenosis after rat carotid artery injury	Tsuruta W, Tsurushima H, Yamamoto T, Suzuki K, Yamazaki N, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Biomater 2009 (Epub ahead of print)	Ascorbate-Apatite Composite and Ascorbate-FGF2-Apatite Composite Layers Formed on External Fixation Rods and Their Promoting Effects on Cell Proliferation and Differentiation in vitro	Wang XP, Ito A, Sogo Y, Li X, Tsurushima H, Oyane A	脳神経(外)診療グループ
Surg Neurol 72: 278-9, 2009	Percutaneous transesophageal gastrotubing: alternative tube nutrition for a patient with a ventriculoperitoneal shunt	Yamamoto T, Enomoto T, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Radiother Oncol 91: 80-84, 2009	Boron neutron capture therapy for newly diagnosed glioblastoma	Yamamoto T, Nakai K, Kageji T, Kumada H, Endo K, Matsuda M, Shibata Y, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot S25-26, 2009	Boron neutron capture therapy for newly-diagnosed glioblastoma: a pilot study in Tsukuba	Yamamoto T, Nakai K, Tsurubuchi T, Matsuda M, Shirakawa M, Zaboronok A, Endo K, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo) 49: 303-305, 2009	Persistent primitive olfactory artery aneurysm. Case report	Yamamoto T, Suzuki K, Yamazaki T, Tsuruta W, Tsurubuchi T	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot 67: 345-7, 2009	T2 Corrected Quantification Method of L-p-Boronophenylalanine Using Proton Magnetic Resonance Spectroscopy for Boron Neutron Capture Therapy	Yamamoto Y, Isobe T, Yamamoto T, Shibata Y, Anno I, Nakai K, Shirakawa M, Matsushita A, Sato E, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
BIOCERAMICS 22: 547-550, 2009	Control of efficiency of gene transfer on surface of DNA-Fibronectin-Apatite composite layer. The 22nd International Symposium on Ceramics in Medicine	Yazaki Y, Oyane A, Tsurushima H, Sogo Y, Ito A, Yamazaki A	脳神経(外)診療グループ
Neuroradiology 51: 61-67, 2009	Absolute choline concentration measured by quantitative proton MR spectroscopy correlates with cell density in meningioma	Yue Q, Shibata Y, Isobe T, Anno I, Kawamura H, Gong Q, Matsumura A	脳神経(外)診療グループ
BIOCERAMICS 22: 897-900, 2009	Osteoblast differentiation induced by Nitrogen plasma-treated polymer surface. The 22nd International Symposium on Ceramics in Medicine	Zhang W, Oyane A, Tsurushima H, Ito A, Chu PK	脳神経(外)診療グループ
British Journal of Ophthalmology	Immunohistochemical localization of D-beta-aspartic acid-containing proteins in climatic droplet keratopathy.	加治 優一	眼診療グループ
British Journal of Ophthalmology	Time course of changes in ocular wavefront aberration after instillation of 0.5% timolol gel-forming solution	平岡 孝浩	眼診療グループ

計 11 件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Vision-related quality of life and visual function following vitrectomy for various vitreoretinal disorders.	岡本 史樹	眼診療グループ
Ophthalmology	Anterior ocular biometry using 3-dimensional optical coherence tomography	福田 慎一	眼診療グループ
Gynecol. Oncol	Feasibility study of neoadjuvant chemotherapy followed by interval debulking surgery for stage III/IV ovarian, tubal, and peritoneal cancers: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0206,	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Int J Gynecol Cancer	Immunogenicity, reactogenicity and safety of human papillomavirus 16/18 AS04-adjuvanted vaccine in Japanese women: interim analysis of a phase II double-blind, randomized controlled trial at Month 7.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Br J Radiol	MR and CT findings of leiomyomatosis peritonealis disseminata with emphasis on assisted reproductive technology as a risk factor.	Tanaka YO,	婦人・周産期診療グループ
Cancer Sciences	Human papillomavirus infections among Japanese women: age-related prevalence and type-specific risk for cervical cancer.	Matsumoto K,	婦人・周産期診療グループ
J Nephrol	Successful pregnancy in a female patient with congenital chloride diarrhea (CLD) and renal impairment.	Shimizu Y,	婦人・周産期診療グループ
Virology	Nuclear location of minor capsid protein L2 is required for expression of a reporter plasmid packaged in HPV51 pseudovirions.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynecol Res	Midtrimester termination of pregnancy by using gemeprost in combination with laminaria in women who have previously undergone cesarean section.	Obata-Yasuoka M	婦人・周産期診療グループ
Gynecol Oncol	A phase III randomized trial comparing neoadjuvant chemotherapy and upfront debulking surgery is indispensable as a basis for changing the standard treatment of advanced Müllerian cancer.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Jpn J Clin Oncol.	The Optimal Debulking After Neoadjuvant Chemotherapy in Ovarian Cancer; Proposal Based on Interval Look During Upfront Surgery Setting Treatment.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol.	A Phase III Trial of Paclitaxel plus Carboplatin Versus Paclitaxel plus Cisplatin in Stage IVB, Persistent or Recurrent Cervical Cancer: Gynecologic Cancer Study Group/Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG0505).	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
J Clin Oncol.	Outcomes of Fertility-Sparing Surgery for Stage I Epithelial Ovarian Cancer: A Proposal for Patient Selection.	Satoh T	婦人・周産期診療グループ
Am J Roentgenol.	MRI of endometriotic cysts in association with ovarian carcinoma.	Tanaka YO	婦人・周産期診療グループ
Tohoku J Exp Med	L-type voltage-gated calcium channel is involved in the pathogenesis of acoustic injury in the cochlea	Isao Uemaetomari	耳鼻咽喉診療グループ
Hea Res	Estradiol protects the cochlea against gentamicin ototoxicity through inhibition of the JNK pathway	Mariko Nakamagoe	耳鼻咽喉診療グループ
Neurosci Lett	Protective effects of exogenous GM-1 ganglioside on acoustic injury of the mouse cochlea	Syuhō Tanaka	耳鼻咽喉診療グループ
Curr neuropharmacol in press	Ischemia-reperfusion injury of the cochlea: Pharmacological strategies for cochlear protection and implications of glutamate and reactive oxygen species	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉診療グループ
Pharmaceuticals	Effects of NSAIDs on the inner ear: Possible involvement in cochlear protection	Tomofumi Hoshino	耳鼻咽喉診療グループ
Curr topic steroid res	Protective roles of estrogens and other neurosteroids in cochlear injury	Mariko Nakamagoe	耳鼻咽喉診療グループ
耳鼻臨床	超音波手術器を用いた聴神経腫瘍手術の工夫	和田 哲郎	耳鼻咽喉診療グループ

計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesth Analg	Licking decreases phosphorylation of extracellular signal-regulated kinase in the dorsal horn of the spinal cord after a formalin test.	Fukuda T, Hisano S, Tanaka M	麻酔診療グループ
J Anesth	Volume manipulation by phlebotomy for cesarean section in a patient with pulmonary hypertension	Watanabe K, Hoshi T, Miyabe M, Tanaka M, Mizutani T	麻酔診療グループ
Br J Anaesth	Bispectral index sensor as a possible cause of postoperative visual loss after frontal craniotomy	Yamashita S, Takahashi H, Tanaka M	麻酔診療グループ
Br J Anaesth	Convulsions associated with ropivacaine 300 mg for brachial plexus block	Satsumae T, Tanaka M	麻酔診療グループ
Biochem Biophys Res Commun 387:109-114,2009	Essential role of Nrf2 in keratinocyte protection from UVA by quercetin.	Kimura S	歯・口腔診療グループ
Oral Oncol	Peroxiredoxin I plays a protective role against cisplatin cytotoxicity through mitogen activated kinase signals	Ma D	歯・口腔診療グループ
日口診誌	慢性歯性感染の関連が疑われた感染性心内膜炎の2例	武内保敏	歯・口腔診療グループ
日口外誌	舌癌終末期患者に生じた内因性真菌性眼内炎の1例	瀬戸佳穂里	歯・口腔診療グループ
Strahlenther Onkol	Proton-beam therapy for hepatocellular carcinoma associated with portal vein tumor thrombosis	Sugahara S, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Neurooncol	Nuclear survivin expression predicts poorer prognosis in glioblastoma	Shirai K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Cancer	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma: the University of Tsukuba experience	Nakayama H, et al	放射線腫瘍科診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I/II Trial of Hyperfractionated Concomitant Boost Proton Radiotherapy for Supratentorial Glioblastoma Multiforme	Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Appl Radiat Isot	Current practices and future directions of therapeutic strategy in glioblastoma: survival benefit and indication of BNCT	Matsumura A, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Applied Radiation and Isotopes	Development of a new multi-modal Monte-Carlo radiation planning system	Kumada H, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Nucl Med Biol	Multipoint analysis of reduced (125)I-meta-iodobenzylguanidine uptake and norepinephrine turnover in the hearts of mice with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine-induced parkinsonism	Fukumitsu N, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	A prospective study of hypofractionated proton beam therapy for patients with hepatocellular carcinoma	Fukumitsu N, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Cancer Sci	Heavy-ion-induced bystander killing of human lung cancer cells: role of gap junctional intercellular communication	Harada K, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Radiother Oncol	A randomized phase II study of cisplatin/5-FU concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer: Short-term infusion versus protracted infusion chemotherapy (KROSG0101/JROSG021)	Nishimura Y, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I study of oral S-1 plus Cisplatin with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer	Kaira K, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Neurochem Int	Involvement of retinoic acid signaling in goldfish optic nerve regeneration	Nagashima M, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Brain Nerve	Particle radiotherapy for malignant gliomas	Yamamoto T, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Strahlenther Onkol	Comparisons of dose-volume histograms for proton-beam versus 3-D conformal x-ray therapy in patients with stage I non-small cell lung cancer	Wang C, et al	放射線腫瘍科 診療グループ

計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Phys Med Biol	Reduction of the number of stacking layers in proton uniform scanning	Reduction of the number of stacking layers in proton uniform scanning	放射線腫瘍科 診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for large hepatocellular carcinoma	Sugahara S, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Strahlenther Onkol	Technical considerations for noncoplanar proton-beam therapy of patients with tumors proximal to the optic nerve	Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Am J clin oncol	Role of radiotherapy for asymptomatic adrenal metastasis from lung cancer with intent of local control	Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for patients with medically inoperable stage I non-small cell lung cancer at the University of Tsukuba	Nakayama H, et al	放射線腫瘍科 診療グループ
Cancer Res 69:1615-1623, 2009	Whole genome comparison of allelic imbalance between noninvasive and invasive small-sized lung adenocarcinomas.	Nakanishi H, Noguchi M, et al.	病理学的診断 診療グループ
Virchows Arch. 454:639-46, 2009	Overexpression of Dickkopf 3 in hepatoblastomas and hepatocellular carcinomas.	Pei Y, Noguchi M, et al.	病理学的診断 診療グループ
J Thorac Oncol. 4:951-958, 2009	Bronchioloalveolar carcinoma (lepidic growth) component is a more useful prognostic factor than lymph node metastasis.	Anami Y, Noguchi M, et al.	病理学的診断 診療グループ
Pathol Int 59:623-630, 2009	Increased cytoplasmic S100A6 expression is associated with pulmonary adenocarcinoma progression.	Ishii A, Noguchi M, et al.	病理学的診断 診療グループ

計 9件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計276件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 五十嵐徹也		
管理担当者氏名	医療情報部長	大原 信	
	薬剤部長	幸田幸直	
	病院総務部総務課長	高橋慶匡	医事課長 廣瀬和幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部 薬剤部 総務課	カケは1患者1ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規 一則 項第 第一 一条 号の に掲 一第 一 体項 制各 の号 確及 保 びの 第 九 状 九 条 の 二 十 三	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	臨床医療管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染管理室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 高橋慶匡、医事課長 廣瀬和幸
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	3 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 2 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.6 %	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		14,164 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,032 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,627 人
	D：初診の患者の数		20,266 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。



(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦・無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年2回以上行う。 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、カゼスレポート等の分析、改善策等を協議する。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 第 1 期の研修プログラム (5回開催) 「コミュニケーション - 病院の言葉をわかりやすく - 第 2 期の研修プログラム (5回開催) 「ディメンション - 患者と医療者の話を公平に聞く - 護身術講習会及び実技 (4回開催) 不審者対策講習会及び実技 (3回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「医療事故防止マニュアル第 5 版」(全面改定版)を作成し、全職員に配布した。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (7) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊦・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理室の設置 院内感染発生時の対応 職員研修</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 新型インフルエンザの現状と対策について パンデミック（大流行）に備える</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>病院における発生状況の報告等の整備 ( ㊦・無 )</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理室から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡</li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊦・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第1期）において、「注射処方するときに注意すること」をテーマに資料を用いて説明を行った。 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第2期）において、「患者とあなたを救うダブルチェック」をテーマに資料を用いて説明を行った。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( ㊦・無 ) ・ 業務の主な内容： 院内巡視にて実施状況を確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ㊦・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 製薬企業MRからの情報収集 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス） 印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ 等） 院内メールによる情報配信	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊦・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 36 回
・ 研修の主な内容： (1) 医療機器の安全使用 1回 (全職員対象) (2) 除細動装置の安全使用 21回 (看護職員・医師・臨床工学技士対象) (3) 閉鎖式保育器の安全使用 2回 (看護職員・臨床工学技士対象) (4) 人工心肺の安全使用 5回 (医師・臨床工学技士対象) (5) 血液浄化装置の安全使用 2回 (血液浄化療法部スタッフ対象) (6) 人工呼吸器の安全使用 2回 (集中治療部スタッフ対象) (7) 診療用高エネルギー放射線発生装置使用方法 2回 (放射線技師対象) (8) 診療用放射線照射装置使用方法 1回 (放射線技師対象)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (㊦・無) ・ 保守点検の主な内容： 各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。	